	⑵　メタル回線収容装置（アナログ電話回線収容部ソフトウェア）投資額 ＝（メタル回線収容装置ユニット数×メタル回線収容装置ソフトウェア単価） ×メタル回線収容装置（アナログ電話回線収容部）投資額 ÷（メタル回線収容装置（回線収容部）投資額＋メタル回線収容装置（ユニット部）投資額） ⑶　局ごとアナログ局内回線収容部投資額 ＝き線点遠隔収容装置収容アナログ電話回線数 ×き線点遠隔収容装置アナログ電話回線単価 ＋メタル回線収容装置（アナログ電話回線収容部）投資額 ＋メタル回線収容装置（アナログ電話回線収容部ソフトウェア）投資額
アナログ・デジタル回線共通部	1　設備量の算定 収容局ごとに、当該局がき線点遠隔収容装置ごとに収容する第一種総合デジタル通信サービス回線数及びアナログ電話回線数の合計を当該局のき線点遠隔収容装置収容回線数とする。 ［2　略］
［略］	
光ケーブル成端架	1　設備量の算定 ⑴　局ごとに、次のア及びイにより求めた心線数の合計を当該局の光ケーブル成端架心線数とする。 ア　当該局に直接光回線で収容される回線数に１回線当たり心線数を乗じたものにき線回線予備率分の心線数を加えたもの及び当該局に帰属するき線点遠隔収容装置数にき線点遠隔収容装置１ユニット当たり心線数を乗じたものに当該局に帰属する光信号分離装置（通信用建物外に設置されるものに限る。）ユニット数及び光予備心線数を加えたものの合計を光ケーブル成端架収容率で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。） ［イ　略］ ［⑵～⑺　略］

	⑴　音声収容装置（ソフトウェア回線収容部相当）投資額 ＝（音声収容装置シェルフ数×音声収容装置ソフトウェア単価） ×音声収容装置（回線収容部）投資額 ÷（音声収容装置（回線収容部）投資額＋音声収容装置（ユニット部）投資額） ⑵　局ごとアナログ局内回線収容部投資額 ＝き線点遠隔収容装置収容アナログ電話回線数 ×き線点遠隔収容装置アナログ電話回線単価 ＋音声収容装置（回線収容部）投資額 ＋音声収容装置（ソフトウェア回線収容部相当）投資額
アナログ・デジタル回線共通部	1　設備量の算定 収容局ごとに、当該局が収容するき線点ごとの第一種総合デジタル通信サービス回線数及びアナログ電話回線数の合計を当該局のき線点遠隔収容装置収容回線数とする。 ［2　同左］
［同左］	
光ケーブル成端架	1　設備量の算定 ⑴　［同左］ ア　当該局に直接光回線で収容される回線数に１回線当たり心線数を乗じたものにき線回線予備率分の心線数を加えたもの及び当該局に帰属するき線点遠隔収容装置数にき線点遠隔収容装置１ユニット当たり心線数を乗じたものに光予備心線数を加えたものの合計を光ケーブル成端架収容率で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。） ［イ　同左］ ［⑵～⑺　同左］